

令和4年度第2回コミュニティスクールたかほ

9月9日金曜、学校運営協議委員の皆さんにお集まりいただき、第2回コミュニティスクールたかほを開催しました。

まず、開会にあたり、内藤会長より挨拶がありました。最近の報道で「教員不足」「教員の超過勤務問題」「部活動の地域移行」等、学校教育に関する内容が多く取り上げられていることをふまえ、「どうしたら学校をスリム化できるか」を考えながら、「充実した学校運営を進めること」が大切というお言葉をいただきました。



次に、今回の主テーマである「令和4年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の重点取組」について、学力向上チーフの初田教諭より説明がありました。その後、委員の皆様からは、生徒の学習状況だけでなく、意欲や主体性について質問が出されたり、ICT機器の必要性や効果等について意見が出されました。さらに、これからの社会や、そこで求められる力とはどんなものか等話題が広がりました。

参加者が自分の経験を振り返り、これまで自分が受けてきた授業（実践してきた授業）と、今求められている授業やこれからの授業の違いについても話し合いました。



続いて、学校長より「学校経営の進捗」について説明がありました。1学期末の評価では「地域連携」等の重点項目でよい結果が得られており、軌道に乗ってきたと感じているという報告がありました。また、2学期は行事をはじめ体験活動がたくさんあるので、その充実が大切であるという思いを委員の皆様とも共有しました。

2時間にわたる会議でしたが、活発な意見交流により、あっという間に閉会となりました。次回は、12月6日（火）を予定しています。